

謹啓 晩秋の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本年3月11日の東北地方太平洋沖地震に端を発する東日本大震災に際し、全国老人クラブ連合会を通じ、貴会からの救援拠金の一次配分を6月13日に、更に、二次配分として9月20日に謹んで受領いたしました。

全国老人クラブ会員の皆様のご支援と温情あふれるお見舞いや元気袋をいただき、ありがたく厚く御礼申し上げます。

今回の震災では、茨城県は地震や津波に加え、液状化の被害に見舞われ、11月4日現在で、死者行方不明者25名、住宅被害では全壊、半壊及び一部損壊を含め18万7千棟を超える被害となりました。

会員のなかにも、自宅が津波に流された方や液状化で住めなくなった方なども多くおられましたが、地震直後から地域で助け合う光景が多く見られたと聞いております。

このような中で、すべての会員が一日も早く笑顔と元気を取り戻すことができるように、県老連をはじめ市町村老連一丸となって支援に励み、全国の仲間の皆様からお寄せいただいた善意を活かしてまいる所存でございます。

皆様からのご支援に対する御礼が遅くなりましたこと、何卒ご容赦願います。甚だ略儀ではございますが、書中をもってご報告かたがたご厚情とご支援の御礼を申し上げます。

ありがとうございました。

末筆ではございますが、貴会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

謹言

平成23年11月11日

各都道府県老人クラブ連合会 会長 様

各指定都市老人クラブ連合会 会長 様

財団法人 茨城県老人クラブ連合会

会長 山口 篤 二

